

令和2年 第1回 根室市教育委員会 会議録

1. 公開案件の審議

なし

2. 非公開案件の審議（会議録省略）

(1) 議案第 1号 根室市立学校条例の一部を改正する条例案を市長に提出することについて

結論 原案どおり決定

(2) 議案第 2号 教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の教育措置に係る諮問について

結論 原案どおり決定

(3) 議案第 3号 令和元年度教育費補正予算案を市長に提出することについて

結論 原案どおり決定

3. 意見交換

○目的

教育行政の課題についての情報共有、さらには頂いた意見を今後の事務を進める上での参考とするために行うもの

○テーマ

・「これからの青年活動 地域の将来を担う若者たちが視野と活動の場を広げていくにはどのような環境づくりが必要か」

【 教育部長 】

今回の意見交換テーマは、「これからの青年活動 地域の将来を担う若者たちが視野と活動の場を広げていくにはどのような環境づくりが必要か」とする。SNSの普及により、情報が容易に入手できるようになったが、青少年層にとって大切な多様なキャリアを持った人材との出会いや意識の変化に影響するような直接的な体験の機会は本人が進んで飛び込まない限りなかなか得られるものではない。根室市の青年たちがより広い視野を持ち、地域社会に貢献できる人材へと成長するためには、どのような学びや活動の場が求められるのか。また、内向き志向と呼ばれる現代の青年たちがどのような環境であれば参加してみようという意識を持てるのか、みなさんの身近な人たちとの関りの中で気づいたことなど、考えを伺いたい。社会教育や市長の公約の中でも、青年の活動できる場の喪失というのがあげられているが、新たな取り組みなどできればいいと考えているが、これといった決定打が見つからないというのが現状である。社会教育や生涯学習などの観点のみならず、広く将来の街づくりを担う貴重な人材という所からも地域への理解や、各界の連携、コミュニケーションを図って情報共有しながら街づくりを担ってってもらいたいということが、市としても感じているところである。こうし

た部分は時代が変わっても普遍的なものではないかなと考えており、街の活力につながるものに何かしていけるきっかけづくりにできないかというのも今回のテーマの中では含んでいると思っている。そのため、今の若い人たちの考えや、こういうのだったらと皆さんの中で感じるものがあったら伺いたい。

【 委 員 】

時代にもよるかと思うが、以前は様々なものがあり、北海道の青年の団体があって、全道大会や全国大会をやったりしていた。そういう組織があって、漁協・農協の青年部が中心で動いたり、町に勤めている人が動いたり、そういうような楽しみがあった。その中でも、根室の仮装盆踊りに出る団体がたくさんあったり、活動を発表したり動く場面があったが、活動していくうちに若い人がそういう組織に入らなくなるというのか、友だち同士で好きな事をやっていた方がいいという形になってきて、どんどんなくなっていった。奉仕活動をしている団体は、多い時に30人くらいいたのが、今は6、7人しかいない。その中でもバザーをしたり、様々な社会活動をしているが、組織を維持するというのは中々難しいし、かえって老人のサークルの方が長持ちしたりする。

【 委 員 】

青年の定義は35歳と決まってないと思うので、ある程度年齢層を上げてても面白いのかなと思う。僕も団体に所属していましたが、今の若い人は全体数が減っているし、昔は時間もお金もあった人が多かったと思うが、今は両方ないと感じていて、プレイングマネージャーがすごく増えている。「現場に出ているから行けません」と言って、現場から離れられないから入れない。そういったことで青年活動をするのは難しいのではないかなと思う。

【 教育部長 】

なにか取り組んでいきたいという考えはあり、そのヒントになるものを頂ければと思っている。

【 教育長 】

社会教育、公民館活動にしても少し停滞気味というのは否めないところがあり、その中の停滞の理由の一つとして、若い人たちの参加があるのかなと。お年寄りの方々に頼っている部分が社会教育活動にはあるため、どのようにして今後展開していけばいいのか、そういうのは若い人たちの参加がなければ中々次の展開が見えないところもある。単に若い人たちの活動をどうするというのも当然あるが、全体を通して根室の街をどのようにしたら活性化させていくことが出来るのかという話になる。

【 委 員 】

若者の学園に参加したことがあるが、若者の学園に参加したことをきっかけにサークルを作ったり、結婚してからママさんバドミントンやったり、そういう人はた

くさんいる。そのうちバドミントンではなくて、その他の種目をやってみて、そこで面白さを感じた人に対して、学校開放でもやっていますよ、よかったら来てみませんかと言えば、また人が集まるかもしれない。

【 教育部長 】

先日の会議でも出たが、お祭りなど、街を支えていく伝統行事が今後大丈夫なのかというところもある。支えていくマンパワーが減っていき、個になってしまい、それぞれの趣味でやるのはいいが、街としての力というところでは、これから支えていけるのかなということが心配である。

【 委 員 】

興味がないわけではないと思うが、なにかやりたいなと思っても行動しない人が多いと感じる。今、若者の学園はこちらが待つ形で、若い人たちから参加してくるのを待っている状況だが、そうではなくて、放課後に部活動に参加していない子どもたちをバスなどで迎えに行き、着付け教室などに参加してもらうなどの工夫をするなどして、学校などから参加者を取りに行くような形をとれたら参加者が確保できるのではないかなと思う。

【 教育長 】

本日頂いた意見を参考とさせていただきます。

午後2時30分 閉会